

よ」と話したところ、その人は、たちどころに「一一誓願為衆生」（いついちの誓願は衆生のため）と云います。けんろう、ナンマンガブナンマンガブ」と答えられました。これぞ安芸門徒の真髓であります。お彼岸に唱える『般若讃』の一節であります。

私は子供のころから、

「願積んでは衆生のため」云々というお説教を聞いて育ちました。願（願いや意志）も行（実践や能力）もない、この私が、お浄土に生まれてアミダさまと同じおさとりを得るために、法蔵菩薩のご苦労があつた筈なのに、その論理をまるで逆手（さかて）にとつて、「私が願行を励んだことがないから、私はご本人に抗議を申し込んでいます。」

アミダさまにはなれない」とは、なんといい情けない言い分でしょうか。この理屈でいくとアミダさまになれないどころか、お浄土へ生れることも出来ませんね。

こんな発言が真宗者のなかにも、しかもしつかりと？学問した人のなかから出るとは、とても信じられません。私はご本人に抗議を申し込んでいます。最中です。

【関係資料】

- ・岩崎正衛「浄土で〃さとり〃を得ても阿弥陀仏になれない？」『中外日報』二〇〇三年六月十七日
- ・岩崎正衛「浄土真宗の證果論『龍谷教学』四〇号 二〇〇五年
- ・内藤知康「宗祖の證果論『龍谷教学』四一号 二〇〇六年
- ・岩崎正衛「再び内藤知康勸学にお尋ね」『中外日報』二〇〇七年二月十七日

西教寺前坊守 岩崎ナヲ 釋尼秀圓 (直入院) 廿五回会法要

今年(二〇〇七年)四月廿三日は、西教寺前坊守岩崎ナヲの廿五回会に当たりま

す。つきましては、左記の通り、永代経法座中に営みたいと存じます。皆さまとともに、在りし日を偲びつつ、お法のご縁にあいたいと存じます。お供えのご心配はご無用です、有縁無縁を問わず、どうぞお誘い合わせの上お参り下さい。 合掌

日時 四月廿一日(土) 十三時〜十五時
場所 西教寺蔵本通支坊
講師 梅原 恵俊 先生 (富山県南砺市隆永寺住職)



二〇〇四年より長ノ木本坊で法座の帳場をしてくださいました河野和俊さんが、体調不良のため退かれ、このたび青木武壮さんがお世話をしてくださいました。



青木武壮さん

また、蔵本通支坊帳場を長年勤められた中岡二三男さんが退かれ、現在、濱中篤美さん、佐々木信子さんがお

世話をしてくださっています。それぞれお仕事をお持ちであったり、色々事情がおあ



濱中篤美さん



佐々木信子さん

りにも関わらず今回「快諾」くださいました。日程的にいうと、現在は、六席とも大丈夫という方もいらつしやれば、できるときだけという方もあり、それぞれですが、いづれにしても、もう数人お力をお貸しいただければ、皆無理なくできるのではないかと思います。

毎月の法座は通常六席、朝席・昼席・夜席とあり一席は二時間です。毎月一席でもかまいません。やってみようと思われる方、ご二報下さい。(TEL:2798)

河野さん、中岡さん、誠心誠意のご報謝ありがとうございました。



向井妙子さん

また、畝原地区のお世話を長年して下さった故・中山芳枝さんのかわりに、このたび向井妙子さんがお世話を下さるようになりました。中山さん心よりお礼申し上げます。向井さん、よろしくお願います。



長ノ木本坊本堂落慶記念法座参詣者に配られた記念品(缶バッジ)。「世の中安穩なれ」「仏法弘まれ」は親鸞さまのお言葉。字は住職。